

研究課題番号	2-1704
研究課題名	日本における長期地球温暖化対策経路の複数モデルを用いた評価と不確実性の分析
研究実施期間	平成 29 年度～令和元年度
累計予算額	117,990 千円
研究機関名	東京大学
研究代表者名	杉山 昌広

1. 評価者の指摘及び提言概要

このエネルギー源のモデルの比較研究における最も大きな貢献度は、モデル毎の違いはあるもののモデルの違いに起因する不確実性を明らかにし、我が国のエネルギーの効率化及び電源の二酸化炭素の大幅減少、需要端の電化の政策は二酸化炭素排出削減目標に大いに役立つことを導いていることは評価できる。既存の複数モデル、多数の文献をまとめ、2050年・2070年の将来のゼロ・エミッションに向けての複数の電力供給変化パターンを可視化できた成果は評価できる。ネガティブエミッション技術開発の重要性を定量的に示したことも成果の一つである。本研究により今後30～50年の電力供給・CO₂排出削減の大枠の道筋を把握できたと言える。

複数の統合評価モデルを比較するサブテーマ1の研究はこの比較によってどのような最終成果に到着したいと考えているのか、その着地点を分かりにくく感じた。また、再生可能エネルギーとイノベーションを取り扱っている研究は新鮮味のある分析結果が得られているように感じたが、原子力の役割を取り扱った研究はその点で少し弱いように感じた。

2. 評点

総合評点：A